

イスラエルは「ガザ攻撃」をやめろ！パレスチナに平和を！

# 「岸田政権の軍拡、改憲」NO！の声を 地域や草の根から

イスラエルによるガザの市民への無差別攻撃に対し、アメリカやイスラエルも含めて世界各地で市民が抗議に立ち上がり、また、この日本でも、全国各地で抗議の声が沸き起こっています。ロシアによるウクライナ侵略に加え、パレスチナでの戦争は、武力と戦争によって、決して平和をつくることはできないことを、改めて示しています。

ところが、岸田政権は、イスラエルの国際法・国際人道法に違反するガザ攻撃を批判せず、また、即時停戦も口にしません。他方で、岸田政権は、ウクライナへの侵略や中国の行動を口実に、大軍拡の強行、学術会議の改変、国立大学法人法改悪、「防衛装備移転3原則」改悪による武器輸出の拡大など「戦争する国」づくりを着実に推進し、明文改憲についても「来年9月の総裁任期中の改憲」に固執しています。

今こそ、「ガザでの軍事攻撃を直ちに中止しろ！岸田政権の、日本を戦争への道に引きずり込む軍拡、改憲をやめろ！」の声を、全国津々浦々、地域や草の根からあげていきましょう。



私たちは毎月9日、「9の日」行動として、街頭から平和憲法・憲法9条を守ろうと訴えています。市民の皆様のご理解をお願い致します。

鹿児島ブロック護憲・平和フォーラム  
鹿児島市鴨池新町 5-7-601  
☎255-3338 fax258-4560



# 危険なオスプレイの「停止」は当然

## 政府にオスプレイの配備見直し求める！



■ □ ■  
米空軍横田基地（東京都）所属のCV22オスプレイが訓練中の十一月二十九日、鹿児島県屋久島沖で墜落して、乗組員八人の死亡が認定されました。現場海域周辺では、米軍や自衛隊、海上保安庁などが残る一人の捜索を続けています。

■ □ ■  
オスプレイは開発段階から墜落事故が相次ぎ、報道によると、これまでに六十三人の乗員の死亡（表、5日時点）が確認されています。戦闘による死者は一人もなく、すべて墜落など事故によるものという異常な事態です。

とりわけ、2022年以降の

■ □ ■  
二年間で四機が墜落し、死亡確認は十八人となっています。また、今回の屋久島沖での死亡者数は、実戦配備後では最多です。また、あまりの犠牲者の多さから、オスプレイは米メディアから「空飛ぶ棺おけ」と呼ばれたこともあり、米軍が安全対策を怠ったとして、遺族による訴訟も発生しています。

■ □ ■  
今回は、不幸中の幸いで、住宅地等への墜落は避けられましたが、あと一歩で大惨事になるところでした。私たちはこの危険なオスプレイの即時停止と日本政府に配備見直しを求めます。

### ■ オスプレイ これまでの死亡事故

【開発段階】 ●内の数字は死亡者数

92・7・20 ⑦ 米本土  
00・4・8 ⑱ //  
00・12・11 ④ //

【実戦配備後】

10・4・8 ④ アフガニスタン  
11・7・7 ① アフガニスタン  
12・4・11 ② モロッコ  
14・10・1 ① ペルシャ湾  
14・5・19 ① 米本土  
15・5・17 ② ハワイ  
17・7・11 ① 米本土  
17・8・5 ③ オーストラリア沖  
22・3・18 ④ ノルウェー  
22・6・8 ⑤ 米本土  
23・8・27 ③ オーストラリア

23・11・29 ⑥※ 鹿児島・屋久島沖

合計 63人

■ は米空軍CV22、それ以外は海兵隊MV22  
※乗組員8人、5日現在でうち6人が死亡確認、残る2人は行方不明

私たちは毎月9日、「9の日」行動として、街頭から平和憲法・憲法9条を守ろうと訴えています。市民の皆様のご理解をお願い致します。

鹿児島ブロック護憲・平和フォーラム  
鹿児島市鴨池新町 5-7-601  
☎255-3338 fax258-4560

